

(第1号様式)

神奈川県教育委員会教育長 殿

平成27年4月1日

県立鶴見養護学校長

平成27年度学校目標設定報告書

次のとおり学校目標を設定しましたので報告します。

学校目標	取組の内容	
	具体的な手立て	評価の観点
自立と社会参加を目指す教育課程の編成と個別教育計画を活用した授業づくりを進める。	(1)充実した授業実践に取り組むために、個別教育計画の記入方法を統一し、内容の充を図るとともに、個別教育計画と授業の関連性を探る研究を推進する。 (2)児童生徒にとって安全安心で、自発的な動きが導き出せる教室環境の整備や教室等の美化を図り、教材の充実及び活用を促進する。 (3)授業改善を進め授業力を強化するために、継続した研究授業、人材育成の研修を定着させる。	(1)個別教育計画に基づいた授業実践ができたか。 (2)児童生徒の自発的な動きを導き出す環境の整備や、教材の充実・活用ができたか。 (3)継続的な研究授業や研修等が定着できたか。
地域や保護者との連携をもとに、人権を尊重し個に応じた指導や支援の充実を図る。	(1)児童生徒の人権を尊重した実践を行うために、個に応じた指導について個別教育計画を活用しチームで情報共有する。 (2)個別の支援計画の活用を進めるために、児童生徒の実態にあったアセスメントの実施や保護者と連携し有効な情報交換を行う。 (3)児童生徒理解を深めて迅速に支援に取り組むために、必要に応じたケース会を充実し関係者間の連携を進める。	(1)児童生徒の人権尊重に向けて、具体的な研修や教育活動を行えたか。 (2)アセスメントの実施や保護者との協働により、個に応じた指導ができたか。 (3)必要に応じケース会を実施し、迅速かつ的確な支援を行えたか。
小学部から高等部まで各学部でのキャリア教育の実践を通して、児童生徒の自己決定の力を育成する。	(1)児童生徒の主体的な活動を促すために、自己選択・自己決定をする機会を多く設けるとともに、一人ひとりの実態に合った選択肢と提示の仕方を検討する。 (2)自立に向けたスキルを身につけ、多様な進路選択につながるよう、地域資源を有効に活用して様々な社会体験を重ねる。 (3)生活年齢や発達年齢に応じたキャリア教育の授業を充実させるために、キャリア教育全体の意味内容を理解し、学部、学年を通じた系統的な教育課程を編成し、教職員の進路研修等を行うとともに、保護者への啓発を行う。	(1)児童生徒の実態に即して、自己決定力を育成する取り組みが行えたか。 (2)様々な社会体験をとおして、児童生徒の社会的スキルの向上が図れたか。 (3)児童生徒の発達段階に応じた、学校としての一貫したキャリア教育を検討できたか。

<p>関係機関との連携の基で多様な地域支援に取り組み、児童生徒の地域での生活をより豊かなものにする。</p>	<p>(1)地域での生活を豊かにするために、地域での活動場所を広げ、居住地交流や地域交流に積極的に取り組む。</p> <p>(2)地域への情報提供を進めるために、地域のニーズの把握に努め、多様な公開研修会を開催する。</p> <p>(3)通学支援や余暇支援を充実させるために、関係機関及び保護者と共に取り組むことを促進していく。</p>	<p>(1)居住地交流、地域交流等をとおして、児童生徒の活動範囲が広がったか。</p> <p>(2)センター的機能を充実させ、情報収集及び情報提供を行うことができたか。</p> <p>(3)関係機関と連携しながら通学支援や余暇支援に取り組み、次年度への改善策を検討できたか。</p>
<p>安全で安心な学校生活を支える取り組みを着実に進め、地域に信頼される学校づくりに取り組む。</p>	<p>(1)学校の教育課題の改善を図ることや開かれた学校づくりを行うために、学校評価システムの効果的な活用やホームページ等を通じた継続的な情報発信を行う。</p> <p>(2)防災対策を進めるために、教職員の防災研修や訓練、児童生徒の防災教育等、実践的な取り組みを行うとともに、地域との組織的な連携を進めていく。</p> <p>(3)不適切な指導や行動が生じないような職場作りを進め、共に学びあい高めあう教職員集団になるために、日常の安全点検、事故・不祥事防止会議等を更に機能させ、研修や環境づくりを進める。</p>	<p>(1)ホームページを活用し、わかりやすくタイムリーな情報発信ができたか。</p> <p>(2)地域と連携した、実践的な防災の取り組みが行えたか。</p> <p>(3)教職員が事故・不祥事防止に主体的に取り組めるような会議や研修等を行えたか。</p>
<p>教育目標・教育方針・中長期的な方針など 教育目標：明るく、元気で、生きる力を持った児童生徒の育成に努める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 健康を育み、体力をつける。(身体的成長) 2 人を思いやる心、感動する心など、豊かな人間性を育てる。(精神的成長) 3 自ら学び、考え、行動する力を養う。(社会的成長) 		